



宇治市 音楽連盟だより

第112号

令和 2 年12月 1 日
発行 宇治市音楽連盟
会長 中西 秀 樹
宇治市広野町小根尾 138-16

宇治市音楽連盟 検索

～第34回音連ミュージックフェスティバル2020を開催～

コロナ禍のミュージックフェスティバル

宇治市音楽連盟会長 中西 秀樹

第34回音連ミュージックフェスティバル2020を10月18日、宇治市文化センター大ホールで開催しました。コロナ禍の現在、ホールでのコンサートを開催するのはさまざまな困難がありました。

今年3月以降、日本中の音楽会が中止になり、練習すらままならない状況下、このミュージックフェスティバルのように多くの出演団体、特に合唱団体が出演する、ホールでの催しは未だにほとんど開かれていません。多くの人が一斉に大声を出す合唱が感染を引き起こす可能性があることと認識されているからです。今回の演奏会では、音連加盟団体のうち半数近くがそのことを心配されて出演されませんでした。その不安に対して誠実に応えるため、社団法人全日本合唱連盟が示す「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」に従いました。すなわち、「演奏や練習の際は前後2m、左右1m以上の距離を取り、マスクについては着用が望ましいが表現上の問題を勘案して判断する」というものです。つまり、マスクについては、距離を取って歌うのであればつけなくて演奏することもOKだということです。また、合唱用に新たに開発されたマスクを採用した団体も複数ありました。

客席においても左右1席ずつ空けるのが今やどこのホールでも常識になっていますが、今回はそれに加え前後も1列空け、ステージに近い最前列3列も空けました。また、ホール入口では出演者・お客様すべての方のマスク着用、検温と連絡先の提出をお願いしました。換気のため4つあるドアも開放したまま。これら考えられる対策で我々が取ることのできることをすべて実施しました。

今回はたくさんのお客様をお迎えしての演奏会とはなりませんでしたが、さまざまな意味で有意義な音楽会であったと考えています。その意義の最大のものは「我々が日頃から取り組んでいる音楽文化がコロナのせいで衰退していくなどということはあってはならない」という心意気を示すことです。他の地域も我々に続いてくれるなら大変嬉しく思います。

来年のミュージックフェスティバルは10月17日(日)同ホールで開催します。来年は今回のような対策を取る必要がないことを願うばかりです。

**第34回 音連
ミュージックフェスティバル2020**

10月18日(日) 13:00開演(12:30開場)
宇治市文化センター 大ホール

新しい生活様式で

●女声 ●混声 ●童声 ●器楽

13:00! 始まるよ!

13:03 1 女声合唱団 詩音

13:14 2 紫陽花コーラス

13:25 3 アルモ・ポリフォニカ

13:36 4 宇治市青少年少女合唱団

13:47 5 赤とんぼ

13:55-14:15 換気します

14:15 6 ムジーク・クライン室内合奏団

14:29 7 フォンテーヌ声楽アンサンブル

14:40 8 ハーモニー宇治

14:51 9 コール☆ジェリケル

15:04 10 宇治マンドリンアンサンブル フローラ

15:18 11 宇治市民混声合唱団

15:30頃 終演予定

20分間の休憩だよ!

- *体調が悪い時は無理をせずに休みましょう
- *会話や食事は十分な距離を
- *目撃回はさわらない
- *身の回りをこまめに消毒
- *マスク着用

サポートスタッフ：コールせせらき 混声合唱団おぐら 女声合唱コアラボール マノントロップ やまぶきコーラス
主催：宇治市音楽連盟 後援：宇治市 宇治市芸術文化協会 宇治市文化事業基金助成事業 京都府文化活動継続支援補助金事業